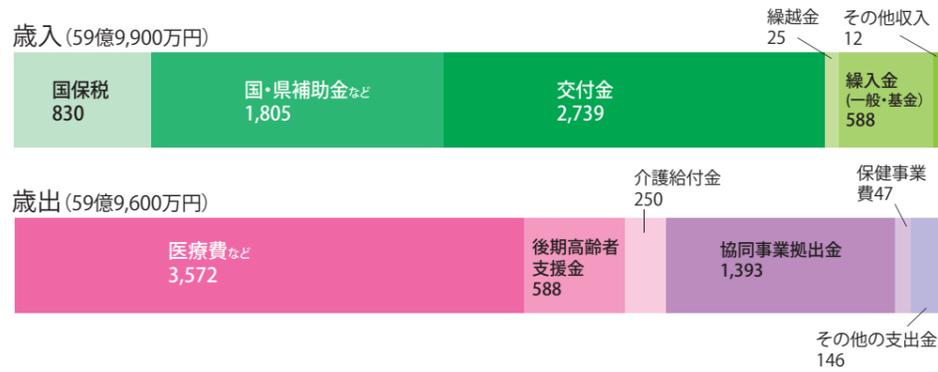


医療費を抑制することで、基金からの繰り入れを抑え、国保税の負担も現状を保つ事ができます。今後、国保税の負担額を少しでも抑制するために、市では医療費の抑制に取り組んでいきます。

国保税の負担額を抑制する

平成27年度の平戸市国保財政状況 (単位:百万円)



医療費の抑制に積極的に取り組みましょう!

ジェネリック医薬品を活用しましょう

ジェネリック医薬品(後発医薬品)とは、新薬(先発医薬品)の特許期間が終了した後に、新薬と同じ効果があると厚生労働省から認められた薬です。ジェネリック医薬品は低価格で、国保の医療費削減だけでなく、家計にも優しい薬です。ジェネリック医薬品希望シールをお持ちの方は、保険証やお薬手帳の余白部分に貼って、病院または薬局の窓口で提示してください。積極的に利用しましょう。

**パタッと貼って意思表示**  
ジェネリック医薬品希望シール

シールは文字や印影などが無い余白部分に貼ってください。

ジェネリック医薬品希望シール

医師や薬剤師と相談のうえ、あなたにとって安心して使いやすいジェネリック医薬品を選びましょう!

重複受診は避けかかりつけ医を持ちましょう

同一の病気で複数の医療機関にかけると、重複する検査や投薬などで医療費が増えるだけでなく、投薬で体に悪影響を与えてしまう心配があります。病気がなった時や日ごろの健康に不安を感じたときには、相談できる「かかりつけ医」を持ち、気になることがあればまずはかかりつけ医に相談しましょう。



自分の生活習慣を見直して改善しましょう

生活習慣を見直したり改善することで、生活習慣病を予防したり、その症状が軽いうちに治すことも可能です。生活習慣病の主なものは、心臓病、脳血管疾患、糖尿病などで、早期には自覚症状がなく、気づかないまま症状が進行するのが特徴です。

また、自分の健康状態を知るため、疾病の早期発見のためにも定期的な健康診査を受診しましょう。



平成30年度から国民健康保険制度が変わります

これまで、各自治体単位で運営を行ってきた国民健康保険制度が、平成30年度から都道府県が財政運営の責任主体となり実施されます。このことにより、保険証などの様式も長崎県内統一したものとなり、給付内容の見直しも行われる予定です。詳しくは、決定次第お知らせします。

お知らせ

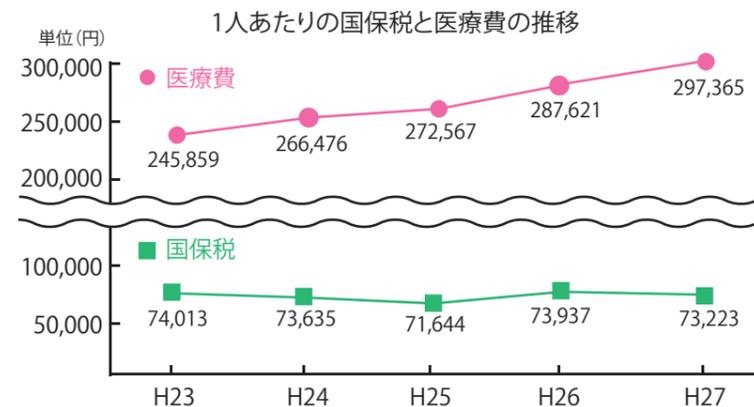
国保でホッ!



平戸市の国民健康保険の現状

近年、少子高齢化や先進医療の進歩などにより医療費が増加する一方、長引く景気低迷などにより国民健康保険(以下国保という)税の収入はほぼ横ばいの状況にあり、保険者を取り巻く状況は、非常に厳しくなっています。この機会に、市の国保の現状を知り、私たちにできることを考えてみましょう。

お問い合わせ 市民課国保年金班 ☎内線2590



年々増加する医療費  
国保加入者の高齢化が進み、全体に占める高齢者の割合が年々増えています。それに伴い国保の医療費は増加傾向にあり、1人あたりの医療費は5年間で、5万1,506円増加しています。一方、1人あたりの国保税の納税額は、長引く景気低迷などの影響で、5年間でほぼ横ばいになっています。



国保財政の仕組み  
国保は、病气やけがの時に安心して医療サービスが受けられるように加入者の皆さんが納める国保税と国県からの補助金や負担金、市の一般会計からの繰り入れで成り立っています。  
国保財政調整基金から繰入金  
国保事業特別会計においては、不測の支出や特定目的の支出に備えて、健全な財政を確保する事を目的に基金(貯金)を設置しています。平戸市の場合、平成27年度は国保税を据え置き、基金2億7千万円を取り崩して補填し、財政不足を補いました。しかし今後は、基金不足になる可能性があるため、国保税の引き上げを検討しなければならぬ状況になってきます。